

2010.3.7(日)

徳島新聞

子宮頸癌 予防訴え

徳島市内 専門医が健康講座

日本産科婦人科学会の「新聞放送会館であった。公開講座「女性のための徳島大学病院の産科婦人健康講座—子宮頸癌の予防と早期発見をめざして」(同学会徳島地方部

トバヒローマウイルス(HPV)の予防ワクチンについて解説。「昨年末から国内で使えるようになったHPVの予防ワクチンは、15歳から25歳までの女性に明らかな効果がある。必要となる3回の接種で5万円弱の経費がかかるため、ぜひ公費負担や補助の動きが広がってほしい」と訴えた。加藤剛志助教は、子宮頸癌の症状や検査方法について紹介。吉田加奈子助教は、県内の受診率が19%と低調な現状を語り、「早期発見で治療できるため、ぜひ受診してほしい」と呼び掛けた。